

主に関係する 領域・教科	自立活動	氏名： 道下 真優子
教材・教具名	①ビニールテープはがし ②布ひっぱり	
ねらい	①手先でつまむ、はがす動きの巧緻性を高める。 ②布（あるいはリング）をつかんで引っ張るといった動きの経験を積む。	

教材教具の説明（写真等を使ってわかりやすく記述）

①ビニールテープはがし

- ・ダンボールに透明テープを貼り、その上に何枚かビニールテープを貼り付ける。
- ・端はつまみやすいように、折り返す。
- ・長時間貼り付けたままにしておくと、児童によっては強度が強いため、その場合は直前に一度はがして貼り付ける。



②布ひっぱり

- ・保存用袋の角を一箇所、斜めにカットする。
- ・リングにハンカチの先を縛り付け、保存用袋の中に入れ、カットした部分からリングが出るようにする。



制作のポイント

使用材料・部品

（箇条書きで記入）

- ①はがしたテープを口に入れることが考えられたため、飲み込みにくいビニールテープが適当だった。
- ②布だけだと、児童は興味を持ちにくいと思い、端にリングをつけた。

- ①ダンボール、ビニールテープ、透明テープ
- ②ハンカチ1枚、リング、保存用袋

実践	（使い方、工夫など、活用場面を写真等でわかりやすく説明 箇条書きで記入）
	（裏面使用も可） ・動画参照
効果・改善点等	（箇条書きで記入） ・テープはがしでは、指先を使ってテープの端を動かしながらテープをつまもうとする動きが見られた。布ひっぱりでは、リング部分を見つけると手を伸ばしてつかみ、腕を後ろに引いてひっぱる動作が繰り返し見られた。 ・布ひっぱりの保存用袋のカット部分は、児童の様子に合わせて切り口の大きさを変えることで引っ張る力加減を調整できる。